

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費〔家具転倒防止器具取付事業〕							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号	4	
事業の種別		☒ 市単独 ☒ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）							
担当部署・課長名		高齢介護 課			高齢福祉 係		課長名	伊野宮 崇	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 2		
【施策名】 高齢者保健福祉の推進						総合計画書（ページ）	51		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）				
	下記いずれかの者で構成された世帯 ・70歳以上の者 ・身体障害者手帳2級以上の交付を受けた者 ・愛の手帳の交付を受けた者 ・精神障害者保健福祉手帳2級以上の交付を受けた者				単身高齢者世帯数・高齢者のみ世帯数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）				
	高齢者等の生命及び財産を地震災害から守り、高齢者等の生活の安全を図りたい。				器具取付実施世帯数				
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）				
	高齢者、身体障害者及び知的障害者で構成された世帯の家具等に、家具転倒防止器具等の取付けを行う。1年のうち一定の期間内において申請を受け付け、器具等の取付け作業は市からシルバー人材センターに委託している。申請者の費用負担なし。				年間器具取付可能世帯数				
	単位		過去2年間の実績		当該年度		成果目標		
			平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標		
対象指標	①の数値	世帯	単身高齢者世帯 5,865 高齢者のみ世帯（推計）4,670 H29:4.1現在	単身高齢者世帯 6,093 高齢者のみ世帯（推計）4,742 H30:4.1現在	単身高齢者世帯 6,279 高齢者のみ世帯（推計）4,798 H31:4.1現在				
成果指標	②の数値	世帯	21	29	13				
目 標	②の目標値				29	29	29		
目標値設定の考え方									
高齢者世帯への日常（在宅）生活の支援を図るため、前年度実績を目標に設定した。									
活動指標	③の数値		40	35	35				
3 経費	事業費（実績）		円	526,893	541,346	274,231	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）		
	財源	一般財源	円	49,893	270,673	137,231			
		特定財源	円	477,000	270,673	137,000			
		（うち受益者負担）	円	0	0	0			
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.1	0.1	0.1			
		所要人数（再任用）	人	825,300	824,400	831,000			
		職員人件費（再任用以外）	円						
		職員人件費（再任用）	円						
事業費＋人件費		円	526,893	541,346	274,231				
4 環境変化等	（1）開始年度		平成7 年度						
	（2）環境の変化		平成7年に事業を開始したが平成21年度に防災安全課において全市民を対象に同一事業の実施が行われ、その間には高齢介護課事業は凍結となった。しかし、希望者が多く高齢者を対象に同一品目等での実施要望があり、平成22年度から内容の見直しとともに再開した事業である。						

